

授業科目名/Subject
社会学

| 学科区分/Department | 学年/Year | 形態/Term | 単位/Credits | クラス/担当者 Class/Instructor |
|--|---------|---------|------------|-----------------------------|
| 国際関係学科 国際文化学科 国際交流学科 国際ビジネス情報学科 | 1 | 半期 | 4 | 服部 慶巨 |

■ 授業概要 / Outline

授業のテーマ/Overall Theme for Course
「ストレス」の社会学

授業のねらい/Goal

世の中は「自分の思い通りにいくものではない！」ということを理解しなければ、社会生活を成り立たせることは出来ない。では、どうすれば良いのか？ そんな疑問が起きた時こそ「社会学」の世界に足を踏み入れる良い機会である。本講義では、聴講学生にとって身近な話題を客観的に考察出来るよう配慮する。

授業の方法/Content

我々は「社会」という舞台の上で「人間らしく」振る舞う(演技する)ことを期待されている。たとえば、ナースは病院・病棟において「ナースらしく」振る舞う(演技する)ことが求められる。また、周囲の期待に応える努力も理解もせず、すぐ「キレル」「ムカつく」子供たちも増加している。こういった背景を理解するため、主として「社会」と「人間」のかかわりから生じるストレスについて講義する。教科書やプリントを用い、理解の助けとする。

■ 授業計画 / Teaching Plan

- 第1回 シラバス授業(講義の方針、展開方法、基礎概念、目標などの確認)
- 第2回 状況(情況)判断
- 第3回 社会(学)とは何か?
- 第4回 ストレスとは何か?(1) 概説
- 第5回 ストレスとは何か?(2) 非日常性
- 第6回 「社会的動物」としての人間(1) 概説
- 第7回 「社会的動物」としての人間(2) 幸福追求にむけて
- 第8回 コミュニケーション(1) 概説
- 第9回 コミュニケーション(2) 構造
- 第10回 コミュニケーション(3) 原理
- 第11回 コミュニケーション(4) 問題点
- 第12回 人間関係の諸相と構造(1) Human Being
- 第13回 人間関係の諸相と構造(2) 地位
- 第14回 人間関係の諸相と構造(3) 役割
- 第15回 問題行動の根源(1) 行為と構造
- 第16回 問題行動の根源(2) 共感性の欠如と逆ギレ現象
- 第17回 問題行動の根源(3) アノミーと犯罪
- 第18回 問題行動の根源(4) ヴァーチャルリアリティ
- 第19回 問題行動の根源(5) 誤対処
- 第20回 社会意識と逸脱(1) 常識
- 第21回 社会意識と逸脱(2) 逸脱
- 第22回 恋愛に伴う欲求と効果(1) 友情と恋愛
- 第23回 恋愛に伴う欲求と効果(2) 恋愛の必要性
- 第24回 恋愛に伴う欲求と効果(3) 恋愛の進行と対人魅力
- 第25回 恋愛に伴う欲求と効果(4) 基本的人間関係再考(まとめ)

■ 教材 / Teaching Materials

教科書 / Textbooks

| | |
|---------------------|-------------------------------|
| 著者名 / Authors | 服部 慶巨 |
| 書名 / Title of books | 補強版ストレス・スパイラル 悩める時代の社会学 |
| 出版社 / Publishers | 人間の科学社 |
| ISBN | ISBN4-8226-0238-9 |
| 備考 / Notes | 「補強版」と「旧版」があるが、使用するの「補強版」である。 |

必携参考書 / Required reference books

プリント配布 / Handouts

推薦参考書 / Recommended reference books

なし / Nothing

■ 履修条件 / Prerequisites

単一的(主観的)な視点ではなく、客観的な分析・発言の可能な学生の参加を希望する。

■ 成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点で評価する。

■ その他 / Others

履修学生の興味・関心事が講義内容に反映されるので、積極的に講義には「参加」してもらいたい。